

令和3年度前期学校評価集計結果

質問1		重要度				実現度				重要度	実現度	ニーズ度
		重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない			
児童	授業の内容は、わかりやすいですか。	89.1%	9.7%	0.8%	0.4%	53.5%	39.5%	5.0%	1.9%	6.8	6.8	14.3
保護者	学校は楽しく学べる工夫やわかりやすい授業づくりに取り組んでいると思いますか。	87.1%	12.9%	0.0%	0.0%	45.7%	50.5%	3.3%	0.5%	6.7	5.8	14.7
教職員	児童がわかりやすい授業づくりに取り組んでいる。	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
		78.9%	15.8%	5.3%	0.0%	16.7%	77.8%	5.6%	0.0%	6.6	5.2	18.5

アンケートの結果、子どもたちは授業について大まか「わかりやすい。」と感じているようです。本校の子どもたちの授業の様子は、どの子も真面目に授業に臨もうとする意欲が見られます。先生の話を真剣に聞く姿は、凛としていてこちらまで「この子たちためにもっとがんばらなければならないな。」と思われるほどです。毎年行われる456年対象のプレジョイント・ジョイントテストの結果を見ると「もう少し、いい成績でもいいのでは…。」と思うこともあります。学習内容の定着に課題があるようです。おすすめは復習です。今日学習した内容を短時間でも振り返ること。今日学習した算数のまとめの問題を1問解くこと。これが大切です。さっと目を通すだけでなく、しっかりと書くこと。できれば声に出して読むことなどアウトプットすることが肝要です。

質問2		重要度				実現度				重要度	実現度	ニーズ度
		重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない			
児童	授業中、自分の考えを友達に伝えることは楽しいですか。	77.5%	17.4%	3.9%	1.2%	52.0%	28.1%	17.2%	2.7%	6.4	5.6	15.4
保護者	お子さんは、学習に意欲的に取り組んでいる。	77.3%	21.8%	0.9%	0.0%	33.3%	54.0%	10.8%	1.9%	6.5	5.4	16.9
教職員	児童が学習内容を把握し、自分の考えを進んで表現できるように指導している。	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
		78.9%	15.8%	5.3%	0.0%	22.2%	72.2%	5.6%	0.0%	6.6	5.3	17.8

児童アンケート実現度の「あまりそう思わない。」「そう思わない。」が20%近くが気になるところであり、課題であるといえます。本来自分の考えを友達に伝えることは楽しいことです。子ども達に聞くと「休み時間なら話すのは楽しいよ。でも授業は別」と言いました。何が別なのかを考えると「伝える。」ということがキーワードだと思います。友達とはたわいもない話が多いようです。伝えるというよりは自分が言いたいことを言ってスッキリとすることが多いようみたいです。一方授業では、相手にしっかりと伝えるように話さなくてはなりません。またもちろん勉強ですから内容も難しくなります。しかし「相手に自分の考えを伝える」ことは他者と健全なコミュニケーションを構築するうえで必要不可欠なことです。授業では、友達の意見と自分の意見を

質問3		重要度				実現度				重要度	実現度	ニーズ度
		重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない			
児童	毎日、家や学校で勉強をしていますか。	84.5%	13.2%	1.2%	1.2%	59.9%	31.1%	7.4%	1.6%	6.6	6	13.2
保護者	お子さんは、毎日家で宿題や勉強をしている。	72.7%	26.4%	0.9%	0.0%	53.3%	37.6%	7.6%	1.4%	6.4	5.9	13.4
教職員	児童に家で宿題や勉強ができるように適切な課題を与え、評価している。	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
		77.8%	16.7%	0.0%	5.6%	23.5%	64.7%	11.8%	0.0%	6.5	5.2	18.2

この項目では90%強の保護者の方が子ども達が毎日家で学習する習慣ができていると回答しました。この項目では実現度「そう思う」をできる限り100%に近づけていきたいと考えています。質問1でも書きましたが、今日学習したことを忘れないうちに学びなおすことで学習内容の定着が図れます。せっかく授業で理解できたことを復習せずに過ごすことで簡単に忘れてしまうのはもったいないことです。学習内容を忘れてしますともう一度やり直さなければなりません。未来の自分に負担をかけることになります。家庭と学校が連携しあって、家庭での学習の習慣づけをしっかりといていきたいと思います。

質問4		重要度				実現度				重要度	実現度	ニーズ度
		重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない			
児童	コンピュータを使った授業はわかりやすいですか。	74.8%	21.3%	3.1%	0.8%	66.1%	24.1%	5.1%	4.7%	6.4	6	12.8
保護者	学校は、日々教育活動の中でGIGA端末やICT機器を積極的に活用した授業を行っている。	56.1%	38.7%	5.2%	0.0%	28.6%	59.3%	9.0%	3.0%	6	5.3	16.2
教職員	日々の教育活動の中で、GIGA端末やICT機器を積極的に活用した授業を行っている。	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
		61.1%	38.9%	0.0%	0.0%	31.3%	43.8%	25.0%	0.0%	6.5	5.1	18.9

児童アンケートでは「コンピュータを使った授業はわかりやすいですか。」の問い合わせでは、重要度、実現度とも高い数値を示しました。児童についてコンピューターは「これから必要不可欠なものである。」と感じているようです。令和元年12月に出された文部科学大臣メッセージにもあるようにSociety5.0時代に生きる子どもたちにとって、PC端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテムだと言われています。GIGA端末は多様な子どもたちをだれ一人取り残すことのない公正に個別最適化された学びや創造性を育むものとして期待されています。大枝小でもデジタル教科書の活用、端末を使った調べ学習や協働学習、授業支援ソフト「ロイロノート・スクール」を用いた授業、デジタルドリルの活用などを進めています。

質問5		重要度				実現度				重要度	実現度	ニーズ度
		重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない			
児童	難しいことでもねばり強くチャレンジしようとしていますか。	81.4%	15.5%	2.7%	0.4%	51.6%	31.8%	14.3%	2.3%	6.6	5.7	15.2
保護者	お子さんは、難しいことでもねばり強くチャレンジしようとしている。	75.3%	23.3%	1.4%	0.0%	25.2%	46.7%	24.8%	3.3%	6.5	4.9	20.2
教職員	日々の教育活動で、児童の自己肯定感を高めることができるよう指導している。	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
		78.9%	15.8%	5.3%	0.0%	27.8%	61.1%	11.1%	0.0%	6.6	5.3	17.8

保護者の方はこのような(難しいことでもねばり強くチャレンジする子)子どもになってほしいと思う反面、現実はなかなか思うようにならないと思っておられる様子がアンケートから読み取れました。粘り強く取り組む力は将来子どもたちが必ず出会うであろう困難に立ち向かう力となります。粘り強く取り組む力につけるためには、一つのことを継続してやり切ったという経験をいかに多く持つことが肝要です。学校でもクラスの係活動や委員会活動で自分の役割を責任をもってやり切るよう指導しています。ご家庭でも子どもたちに役割を与え、やり切る経験を積み重ねてほしいと思います。

質問6		重要度				実現度				重要度	実現度	ニーズ度
		重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない			
児童	学校は、楽しい時もあり、厳しく感じる時もありますか。	79.9%	16.2%	2.7%	1.2%	74.8%	18.6%	3.9%	2.7%	6.5	6.3	11.1
保護者	学校は、お子さんにとって楽しくもあり厳しさもある場になっていります。	80.6%	19.4%	0.0%	0.0%	43.9%	50.5%	4.7%	0.9%	6.6	5.7	15.2
教職員	厳しいけれどわくなく、優しいけれど甘くない教職員である。	73.9%	17.4%	8.7%	0.0%	26.1%	65.2%	8.7%	0.0%	6.5	5.3	17.6

保護者アンケートの重要度の「そう思う。」が80%を超えるという結果から、「楽しむ時は楽しむ。やらねばならない課題はしっかりと甘えることなくやり切る。」という教育のニーズを強く感じました。メリハリのある学級経営を工夫していきたいと思います。またコロナ禍の中でいろいろな学校行事が制限される中、なかなか子どもたちが達成感を感じ次に生かす場が少なくなっています。感染対策を考慮した上での児童会活動など学校全体での取り組みも考えていきたいと思います。

質問7		重要度				実現度				重要度	実現度	ニーズ度
		重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない			
児童	思いやりの心をもち、友達と仲良く助け合っていますか。	89.5%	9.3%	0.8%	0.4%	64.1%	29.3%	4.7%	2.0%	6.8	6.1	12.9
保護者	お子さんは、おもいやりの心をもち、友達と仲良く助け合う子に育っている。	88.5%	11.5%	0.0%	0.0%	46.3%	46.7%	7.0%	0.0%	6.8	5.8	15
教職員	日々の教育活動の中で、子どもたちと遊んだり、子どもたちの話に耳を傾けている。	78.3%	21.7%	0.0%	0.0%	34.8%	52.2%	13.0%	0.0%	6.7	5.4	17.4

大枝小学校の子どもたちの良さは、誰とでも分け隔てなく仲良く遊び、助け合おうとするところです。各教室の様子を見ると授業中では落ちている消しゴムをそっと拾って渡してあげたり、休んでいる友達のプリントをきれいにたたんで机の中に入れてあげる様子も見られます。「友達のことを考えた優しい人だなあ。」と感心させられます。この良さをこれからも続けてほしいと思います。

質問8		重要度				実現度				重要度	実現度	ニーズ度
		重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない			
児童	しっかりと自分からあいさつをしていますか。	86.4%	8.5%	3.9%	1.2%	52.5%	30.0%	14.0%	3.5%	6.6	5.6	15.8
保護者	お子さんは、しっかりと自分からあいさつをしている。	83.8%	15.3%	0.9%	0.0%	23.1%	40.6%	32.5%	3.8%	6.7	4.7	22.1
教職員	日々の教育活動の中で、子どもたちに笑顔であいさつをしている。	69.6%	30.4%	0.0%	0.0%	52.2%	43.5%	0.0%	4.3%	6.6	5.9	13.9

子ども達の約90%が「しっかりと自分からあいさつすること。」を重要だと考えています。しかし、実際にしっかりとできていると回答しているのは約50%という結果になっています。朝、登校の様子を見ると、自分からあいさつできる児童は本当に少ないのが現状です。「あいさつは人を大切にする第一歩である。」と言われるようにあいさつは人と人とのコミュニケーションの基本です。小学生だから「いつかできるようになる。」というようでは、あいさつは決して身につくものではないでしょう。なぜならあいさつは習慣に基づいて行われるものだからです。低学年では「大きな声であいさつ」し、中学年では「相手の目を見てあいさつ」し、高学年では「語尾までしっかりとあいさつ」を意識し、すべての児童が、どんな時にでも、あいさつが自然にできるように、保護者、学校、地域が共に声をかけあっていきましょう、家庭では機会をとらえてあいさつの大切さを話題にしていただきたいと思います。

質問9		重要度				実現度				重要度	実現度	ニーズ度
		重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない			
児童	そうじ時間内にきちんとそうじをしていますか。	88.8%	9.3%	1.2%	0.8%	66.9%	28.4%	4.7%	0.0%	6.7	6.2	12.1
保護者	お子さんはそうじ時間内にきちんとそうじをしていますか。	66.5%	29.3%	4.2%	0.0%	25.8%	41.3%	26.3%	6.6%	6.2	4.7	20.5
教職員	そうじ時間は、子どもたちと一緒にそうじをしている。	76.2%	19.0%	4.8%	0.0%	52.4%	28.6%	19.0%	0.0%	6.6	5.7	15.2

本校では、そうじ時間は15分です。自分の分担場所を責任をもってそうじすること。終わればまだ終わっていない場所を手伝うなどみんなで力を合わせてやり遂げることを目標と、教職員も一緒にやって取り組んでいます。掃除時間は子どもにとって、集団で協力して時間内にやり遂げる力をつけ、その中から段取りをする力や主体性、協調性を身に付けていく大切な教育活動だと考えています。「友達と力をあわせてがんばれた。」「掃除時間中に全部終わらせきもちよかったです。」という声が子どもたちに広がるような学校にしていきたいと思います。

質問10		重要度				実現度				重要度	実現度	ニーズ度
		重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない			
児童	学校の約束を守っていますか。	91.5%	5.8%	2.3%	0.4%	61.2%	33.3%	5.4%	0.0%	6.8	6.1	12.9
保護者	お子さんは家族の約束事をしっかりと守る。	81.5%	17.1%	1.4%	0.0%	22.2%	55.7%	20.8%	1.4%	6.6	5	19.8

教職員	日々の教育活動の中で、子どもたちに規範意識を育てようと努力している。	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
		69.6%	26.1%	4.3%	0.0%	30.4%	65.2%	4.3%	0.0%	6.5	5.5	16.3

61.2%の子ども達が学校の約束事をしっかりと守っていると回答しました。しかし残りの40%近くの児童は「だいたいはできている」「あまりできない」と回答しています。学校の約束事は大枝小学校のみんなが気持ちよく学校生活を送るための最低限度のきまりです。これを守らなければみんなが楽しい学校生活が送れなかつたり、安全に過ごせなかつたりすることになりかねません。だからこの項目の実現度の「そう思う。」は100%にしなくてはならないと思います。学校では学年に応じ、約束事について子どもたちと学習を深めていきたいと思います。

質問11		重要度				実現度				重要度	実現度	ニーズ度
		重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない			
児童	自分のことを大切だと感じていますか。	89.2%	6.9%	1.5%	2.3%	67.4%	23.6%	6.2%	2.7%	6.7	6.1	12.7
保護者	お子さんは、自分のことを大切だと感じている。	86.4%	12.1%	1.4%	0.0%	46.0%	47.4%	6.1%	0.5%	#####	5.8	14.7
教職員	日々の教育活動において、人権を尊重する姿勢で子どもたちの指導に当たっている。	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%	45.5%	50.0%	4.5%	0.0%	6.6	5.8	14.5

「あまりできていない。」「できていない」と10%近くの児童が回答しました。児童を取り巻く社会の中で自己肯定感がなかなかもちづらく、やらなければならぬことや困難に出会ったとき、「どうせ頑張っても無理。」「自分は何を頑張ってもうまくいかない。」などと考え込んでしまう児童が見受けられます。こんな時「頑張ったら必ずうまくいくよ。」という声掛けもいいのですが、子ども達にはぜひ「今頑張れる自分がすごいんだ。かっこいいんだ。」「今頑張れることが幸せなんだ」と感じて欲しいと思います。自分が出会った困難に勇気をもって立ち向かおうとする姿をぜひ褒めていきたいものです。

質問12		重要度				実現度				重要度	実現度	ニーズ度
		重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない			
児童	健康や安全に気をつけて生活していますか。	92.6%	5.0%	1.2%	1.2%	73.0%	21.1%	3.5%	2.3%	6.8	6.3	11.6
保護者	お子さんは、健康や安全に気をつけて生活している。	86.9%	12.6%	0.5%	0.0%	39.0%	51.9%	9.0%	0.0%	6.7	5.6	16.1
教職員	健康や安全に関わる指導を適切に行っている。	77.3%	18.2%	4.5%	0.0%	45.5%	50.0%	4.5%	0.0%	6.6	5.8	14.5

児童が健康や安全に気をつけていますかという問い合わせに「そう思う。」「大体そう思う。」と回答した子どもたちの数値が約95%という結果になりました。学校の様子を見ても最近廊下を走っている児童は少なからずいますが以前に比べて減少してきた印象もあります。高学年の子どもたちが「廊下走ったらあかんで。」と走っている低学年に優しく声をかけている姿もよくみられます。子ども達自身が安全に心を配っている様子が見られることはうれしいことです。

安全については自分の不注意な行動がどのようなことを起こしてしまう可能性があるのか、想像力を豊かにして考えてほしいです。学校では安全面に対する指導と健康面に関する指導を積み重ねています。安全面では、安全に関する学級指導や安全ノートを活用しての安全学習、様々な災害を

質問13		重要度				実現度				重要度	実現度	ニーズ度
		重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない			
児童	ふだん外で体を動かして遊んでいますか。	86.4%	10.1%	2.7%	0.8%	62.2%	22.8%	11.8%	3.1%	6.6	5.9	13.9
保護者	お子さんは、ふだん外で体を動かして遊んでいる。	80.4%	18.7%	0.5%	0.5%	47.4%	34.6%	15.6%	2.4%	6.6	5.5	16.5
教職員	子どもたちは、体を動かして遊んでいる。	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
		76.2%	23.8%	0.0%	0.0%	38.1%	57.1%	4.8%	0.0%	6.7	5.7	15.4

コロナ禍という今の事情、児童を取り巻く時間や場所等による都合、または、テレビやゲーム、スマートホン等によって児童の体を動かす機会が本当に少なくなっています。特に学校以外では、保護者アンケートの実現度が示す通り、児童の約20%が外で体を動かしていないと答えています。外遊びは身体を疲れさせることで、頭と身体のバランスをとることができますし体力づくりをするうえで非常に大切なことです。また、社会のルールを学ぶ上でもまたコミュニケーション能力を培う上でもなくてはならないものです。場所時間を見つけて体を思いっきり動かしてほしいと思います。

質問14		重要度				実現度				重要度	実現度	ニーズ度
		重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	そう思う	大体そう思う	あまり思わない	思わない			
児童	自分に携帯電話(スマートホン)は、必要だと思いますか。	41.9%	27.1%	17.1%	14.0%	38.9%	16.7%	5.1%	39.3%	4.9	4.1	19.1
保護者	自分の子どもに携帯電話(スマートホン)は必要だと思います。	13.8%	18.4%	39.2%	28.6%	17.8%	25.2%	20.8%	36.1%	3.4	3.5	15.3
教職員	日々の教育活動の中で、情報モラル教育を積極的に行っていく。	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
		70.0%	25.0%	5.0%	0.0%	21.1%	57.9%	15.8%	5.3%	6.5	4.9	20.2

この項目では児童と保護者のスマートホンにおける重要度の認識に大きな差があることがわかりました。児童では「重要である・やや重要である」を合わせると69%であり、保護者では32.2%でした。児童は7割が重要(ほしい)と答え、保護者は7割が重要でない(いらない)と答えています。大枝小学校では「持たせる、使わせる」家庭が増加の傾向にあります。児童にスマートホンを使わせる短所は、①ゲームや動画に熱中し、やらなければならぬことがおろそかになる。(基本的な生活・勉強時間など)②LINEなど、SNSでのトラブルや集団いじめ。③好奇心、実体験、言葉の体験の3つの重要な

刺激が減ること。などがあげられます。特に、スマートフォンを用いた悪質ないじめ、触法行為は学校現場に関わらず社会から後を絶ちません。そのことから命を落としてしまう児童や生徒がいることも新聞報道などで周知の事実です。だれもが被害者だけでなく加害者になることを未成年の子を持つ親として肝に銘じたいものです。また、スマートフォンを持たせるならば、リスクを十分考えたうえ「持たせる」ことが必要です。保護者として持たせたならば持たせた責任が発生することを当然のことながら頭に入れておくことが肝要です。学校としては「ネット上のいじめ」やインターネット上の違法・有害情報から守るために「ケータイ・スマホ教室」を継続し、危険性や依存性について指導していきます。

質問15		重要度				実現度				重要度	実現度	ニーズ度
		重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない			
児童	家の人と、学校や社会の出来事について話をしていますか。	74.0%	17.1%	4.7%	4.3%	47.9%	24.7%	18.5%	8.9%	6.2	5.2	17.4
保護者	お子さんは、家で学校や社会の出来事について進んで話をします。	73.8%	25.7%	0.5%	0.0%	42.3%	39.0%	17.4%	1.4%	6.5	5.4	16.9
教職員	保護者と積極的に連携を取り合っている。	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
		85.0%	10.0%	5.0%	0.0%	30.0%	40.0%	25.0%	5.0%	6.7	4.9	20.8

児童用アンケート(実現度)では、72.6%の児童が家族の中で学校の出来事を話題にしているとの結果でした。学校のことを家族のだんらんで楽しそうに話している姿が目に浮かびます。新型コロナウィルス感染症拡大により保護者の方々となかなか直接お会いしてお話しする機会も少ない現状の中で、しっかりと学校での出来事を伝えてくれて本当にうれしいです。感染状況次第ではありますが、運動会(体育学習発表会)や持久走大会などできる限り子ども達の様子をご覧いただけるよう考えています。また、学校ホームページなどで子ども達の学校の様子もお伝えしていきたいと思いま